

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビリア（旧：リハケアガーデンネクスト）		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日	～	R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日	～	R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・リハビリ職員・社会福祉士・看護師、と多職種であるため、多角的に評価し、目標設定・活動の提供ができる	5領域やICFの観点も用い、児童の全体像を把握し直接的介入や環境設定など、提案できるよう支援している	日々の振り返りは実施しているため、更に個別カンファレンスを実施し、様々な専門的見解を共有できる機会を増やしていく
2	児童の自己選択・自己決定を尊重し、活動などを実施している	手伝わ部分は手伝いつつ、自己決定できることは話し合いながら決めていくことで自己成長の機会を作るように支援している	どの職員も児童の自己決定の機会を作れるように、更に構造化・体制化まで落とし込んでいく
3	本人・家族のニーズに出来るだけ応える支援を提供している	障害児利用計画書・個別支援計画書と日々の児童の様子から毎回振り返りを行い、今後の活動・取り組みを決めて支援している	保護者の方と情報交換ができる機会を更に増やしていく（LINE、保護者会など）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ほか保育園・こども園、地域交流などがまだ頻回ではない	利用児童の支援に注力している状況であったため	今後は定期的な交流など行えるよう計画を立て、実施していく必要がある
2	緊急対応マニュアルなど、周知説明が浸透できていない	マニュアルを頻回に提示する機会が少ないため	定期的なマニュアルの読み合わせや、保護者へ見える化できる仕組み作りが必要
3	保護者会との情報交流が頻回ではない	不定期であり、頻回にできている状況ではなかったため	定期的に保護者と交流できるよう計画を立てる必要がある

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ハビリア (旧: リハケアガーデンネクスト)	公表日	R8年 2月 26日
		利用児童数	5
		回収数	4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3			1	何人いるかは分かりませんが適切だと思います	配置基準を満たす人員を確保しています。より配置がわかりやすくなるよう当日出勤スタッフの見える化を行っていきます
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1	バリアフリーではあると思いますが全部はわかりません	全巻バリアフリーとなっています。トイレは大人用のトイレになるため道具を活用していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	1			全部見ているわけではないのでなんとも言えません	日々の支援内容の報告を頻回に少量に行っていきます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3			1	交流しているかはわかりません	利用されている児童の園行事などにスタッフが参加させていただき情報交換など行わせてもらっています。今後も継続していきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4					
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3	1			まだ利用して間もないのでなんとも言えません。してくれているとは思っています	今後も継続して情報交換やお困りごとなどお話ししていただけるようLINEなどを活用していきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3			1	まだ利用して間もないのでなんとも言えません	お困りごとなどに対してご提案は随時できるようにLINEなどを活用し情報交換を行って参ります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	2				2		

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			1	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4				楽しみに通っています 今後も楽しみながらも児童の支援を行って参ります
	29	事業所の支援に満足していますか。	4				

公表 業所における自己評価結果

事業所名	ハビリア (旧: リハケアガーデンネクスト)		公表日	R8 年 2月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		部屋が二つあり動的・静的な活動の空間を物理的に分ける事で児童が活動の切り替えをスムーズに行いやすく集中して取り組める環境を整えている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		制度に基づいた配置基準を満たしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		運動と学習のスペースを分離する物理的な構造化により活動の切り替えを促進している。また、全館バリアフリー化により安全な環境を整えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎活動後の清掃・消毒を徹底。2部屋を使い分け集中と休息が両立できる環境を整えている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		粗大運動の部屋と静の部屋があるため、その子に合わせた部屋を提供することができる	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		朝礼・昼礼を通じて全職員が日々のプログラム立案と振り返りに参画している。現場の気づきを即座に次の支援計画に反映させる体制を構築しており、PDCAサイクルが日常的に機能している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	モニタリング時期や保護者送迎の際に意向を把握し現場に反映させるようにしている	今後、家族会などを定期的に行う機会を設け、意向の確認する場を増やせるよう改善していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月一の定例会や毎日の朝礼などで改善点など話ある機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	監査など評価をいただき改善中である	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		半年に一回の社内研修、外部事業所への派遣研修などを計画的に行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		日々の活動などの様子を適宜SNS/HPなどで発信、支援内容の可視化に努めている	HPなどアップデートし、更に見やすくする必要がる
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		障害児利用計画書情報や保護者・児童からの情報、客観的評価表など用いて計画書を作るようにしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		朝礼や情報交換ツールを用い共有を行なっている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		JSI-Rによる聞き取りから、より客観的な遠域時式と 感覚プロファイルの併用体制へ移行している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		全スタッフで活動プログラムを立案している。毎日の朝礼・昼礼において児童一人一人の反応や状況を共有しスタッフの視点を柔軟にプログラムに反映させている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童の興味関心やその日のコンディションに合わせて活動内容を柔軟に調整している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		朝礼・昼礼を通じて全職員が日々のプログラム立案と振り返りを行なっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		各児童の日々の活動内容の記録を徹底している。記録に基づき、翌日の昼礼で支援の検証を行い、その日のうちに次回以降のプログラムを決めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		小学校開催の情報交換会へ参加し、「移行支援シート」を用い詳細な情報共有をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1	利用児童の園行事などに参加し園保育士と情報交換など行っている。併設の高齢者デイサービスとの多世代交流や地域資源を活用した外部との接点を設けている	地域のこども園などと定期的な交流ができるよう改善していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	連絡協議会や他事業所から知り得た支援プログラムなどは保護者へ情報提供を行なっている	今後はLINEを通じて知り得た情報を発信できるよう改善していく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	行事にて児童・保護者同行の交流機会を設けている	不定期であるため、年間を通して定期的に行えるよう改善していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		HPやSNSを通じて事業所の概要を広く公開することで情報の透明性を確保している	LINEを活用し日々の活動状況や個別の様子、行事予定などを保護者へ迅速かつ詳細に発信できるよう改善中である
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			専門用語を避けたわかりやすい説明をし、けるとともにLINEを活用し写真を添えて活動状況を視覚的に伝えるよう改善中である
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	法人として地域住民を招待した取り組みなどを行なっている	事業所単体でも地域との交流機会を設けるよう改善していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	4	利用前見学时、保護者へ直接ヒヤリングや相談支援員より提供される資料にて児童の状況を確認している	死守や担当など事前情報を得る機会を増やす職員を増やし、全職員が事前情報収集が行えるように教育体制の改善を行なっていく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	現在、食物アレルギーのある児童は利用していないが、アレルギーがある場合は担当時に聞き取りをする	今後該当する児童が利用する際、医師の指示などに基づき対応を行なっていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			